

日本原子力学会 熱流動部会
熱水カロードマップ 安全評価 SWG/熱水力 SWG 合同幹事会
議事録（案）

日時：2019年12月27日 15:00～17:30

場所：電力中央研究所 大手町ビルディング7階728B会議室

参加者： 熱水力 SWG 主査 : 守田教授（九大）
熱水力 SWG 幹事 : 木藤（日立）、西（電中研）、中村（電中研）記
安全評価 SWG 幹事 : 宇井（電中研）、中村（JAEA）、山田（日立）

配布資料

- 資料1 日本原子力学会 熱流動部会 熱水カロードマップWG 第1回委員会 議事録（案）
- 資料2 2020年春の年会企画セッション提案書
- 資料3 熱水カロードマップ 熱水力 SWG 第9回幹事会資料
- 資料4 安全評価 SWG 対応状況
- 資料5 熱水力 RM（日立 GE コメント）

議事概要

（1）熱水力 RM 第1回委員会議事録の確認（西）

前回議事録の確認を行った。以下のコメントがあった。

- ・ 「添付10」の記載は、「添付8及び10」が正しい記載である。
- ・ 「規制庁の要請」に関して、会議後に規制庁に持ち掛けた。その結果、基準作成への直接への参加はできないが、オブザーバーで参加する事は前向きに検討したい旨回答を得た。
- ・ 「火災」については電中研が参加していたことも指摘されていた。

（2）原子力学会企画セッションにおける発表について（西）

熱水力 RM ローリングの状況について原子力学会 2020 春の年会の企画セッションで発表することについて報告があった。発表申込に至る経緯や今後の予定について説明があった。

（3）今後のアクションの確認（木藤）

第1回委員会後のアクションの確認を行った。それぞれのアクションに対して、以下の通り進めることとなった。

アクションアイテム1：「基盤 R&D 技術マップ」の相互レビュー

- ・ 各組織で現状の改訂版技術マップをレビューし、コメントまたは改訂案を記載する。
- ・ もともとの改訂担当部署がレビュー結果を受けて対応する。（担当部署が最終的に対応要否、実際の対応を決める。

- ・ コメント方法は、単なるコメントの形ではなくできる限り「反映案」の形で提示する。
- ・ 期日は以下を目途とする。
 - 相互レビュー：1月中
 - コメント対応：2月中旬まで（RM 委員への送付完了までを含む）

アクションアイテム 2：炉心損傷前の技術マップの項目選定

- ・ 1月中旬に幹事団で集まって何の項目を追加すべきかを話し合う。ただし追加する項目が少ないと見込める場合は、メールのやりとりによる作業とする。
- ・ 項目が追加された場合には担当を割り当ててドラフトを作成する。

アクションアイテム 3：「安全評価技術マップ」のレビュー

- ・ 年明け早々に安全評価 SWG 側より熱水力 SWG 側に最新の作業結果を送付する。
- ・ 熱水力 SWG 側で機関ごとに分担を割り振ってレビューする（（合計 1200 行～2000 行で各機関 300 行程度割り当ての見込み）

アクションアイテム 4：外的事象への対応

- ・ 外的事象については、現状新規規制基準をもとに作成されておりそこから大きな変化は考えられないため、今回は改定対象外とする。

その他以下の点について議論があった

ベータ版の公開について

上記アクション 1, 2 を反映した熱水力 RM 改定版ドラフトを HP に載せて意見募集を行う。以下の要領で行う。

- ・ ベータ版には部会員のみがアクセス可能とするために、事前に熱流動部会のメーリングリストにて部会員にパスワードを送る。
- ・ 公開開始は2月下旬を目途とする。

(4) 今後の予定

- ・ 2月中旬まで：相互レビューと改定
- ・ 2月下旬：熱水力 RM 改定ベータ版の公開
- ・ 3月 16 日－18 日：原子力学会春の年会
 - 16 日（調整中）：熱水力 RM 委員会（RM 改定版を企画セッションで公開するため、企画セッションより前に開催したい。まずは越塚先生のご予定を伺う）
 - 17 日：企画セッション

以上